

令和5年度行政評価 事務事業評価シート(令和4年度実績)

事務事業コード	020104030	予算コード	01050500	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	小学校介助事業	正規職員数	0.35	国庫支出金	1,735	有効性	A	介助が必要な児童生徒は年々増加している。様々なケースがあるためきめ細やかな充実した介助が必要なため。	
担当課	学校教育課	嘱託職員数	0.25	府支出金	0	効率性	B		
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0.1	市債	0	妥当性	B		
	■要綱・要領	歳出(千円)		その他	0	受益者負担	該当なし		
	泉佐野市人権教育の基本方針	人件費総額	3,806	一般財源	106,983				
				減価償却費	0				
				事業費	104,912				
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)		108,718	緊急性		C	事務事業実施内容	
実施手法	市直営	市民1人当たりコスト(円)		1,102				介助員の配置	
対象		活動指標		R4実績	公的関与		A		
特定の市民		対象数	169		障がい児介助員		81.0		
小学生の要介助児童					外国人介助員		19.0	実施主体・委託化	
事業の内容								他の事務事業との関連	
小学校介助事業として以下のように実施している。 ①障がいのある子どもに対する介助 ②介助については、身辺自立ができない、安全確保が困難である等、教育的配慮の要する子どもに対しての措置 ③外国からの転入生による受入のため、通訳の配置		成果指標		R4実績	透明性		A		
		要介助障がい児		149.0	財政健全化計画		該当なし		
		要外国人介助者		20.0	財政健全化の取組		該当なし		
					改革改善プラン達成度		該当なし		
事業の目的		コスト指標		R4実績					
障がい等で配慮の要する子どもへの身辺介助等をする。		介助者一人当たり経費		643,301.8					